

北斗市 「防災ハンドブック」

市では自助、共助の推進による地域防災力の充実・強化を目指して、日頃の備えや、発災時の適切な行動等について掲載した「北斗市防災ハンドブック」を作成しました。

地震や津波、集中豪雨による洪水や土砂災害。いつ、どこで起こるかわからない自然災害に対して、日頃から備えておく必要があります。

「北斗市防災ハンドブック」には、日頃の準備の仕方から、気象情報ととるべき行動との関係、さらには避難する際の注意点など自助・共助に関する部分と、津波浸水範囲や洪水浸水想定区域、災害別の避難所等の一覧表など、災害時に避難を判断する際に必要な情報を掲載しています。

この「北斗市防災ハンドブック」で地域の危険を知り、正しい避難行動がとれるように日頃から家庭や職場で災害に対する安全対策を話し合うとともに、地域での自主防災体制の確立や強化に活用してください。



「防災ハンドブック」で市民のみなさんに確認してほしいこと

災害への備え

事前にハザードマップで自分の家と危険区域を確認し、いざという時の自分のとるべき行動を決めておきましょう。

自分の家から避難場所までのルートはどれくらいの時間を要するのか、ルート上に危険な箇所はないかを確認し複数の避難ルートを決めておくことが大切です。

地震・津波の際の避難行動

大きな揺れの後には津波が来るという意識を持って行動してください。

防災ハンドブック掲載の高台マップは、空を飛ぶ鳥の目から見たような地図で、標高ラインを示し避難場所等をわかりやすく表示していますので、家族で避難場所や避難ルートを話し合う時に活用してください。

洪水・土砂災害の際の避難行動

大雨による洪水や土砂災害は、地震津波のように予期せず発生する災害とは対応が異なります。その一番の違いは、災害が発生する前に避難できるということです。事前避難が重要であることから、「北斗市防災ハンドブック」や「北斗市防災行動計画(タイムライン)」を参考にしながら、警戒レベルに対応した自分や家族のマイ・タイムラインを作成し、効果的な気象情報の収集と先を見越した早目の行動、そして適切な避難方法による行動がとれるよう備えてください。

※「タイムライン」は市公式ホームページで確認することができます。



指定避難場所の確認

指定避難所・指定緊急避難場所は、災害により対応する施設が異なります。特に津波災害と他の災害の避難所等が異なる地域にお住まいの方は注意してください。

必ずしも、避難所へ行くことが、正しい避難とは限りません。自宅の状況によっては、自宅に留まることや親類・知人の家などに行くことも避難行動の一つです。

あなたにとって適切な避難とはどのようなものか「命を守る行動」を確認してみましょう。

自治会・町内会から防災研修会を兼ねた「防災ハンドブック説明会」として要請をいただければ、市の防災担当職員が伺いますので、町内会活動活性化の自主防災事業としてお役立てください。

問 市役所総務課交通防災係 [内線212~214]

HP <https://www.city.hokuto.hokkaido.jp/docs/7185.html>